

龍神伝説を創作劇に

諏訪地方に語り継がれる龍神伝説などを地域の4年生が、民話を基にした創作劇を披露する。5日午後2時から同市のカニホールで開く市民文化祭「おかや演劇祭 やらだいもんシアター」のミニシアターに、小学校単位では初めて出演。児童らが自ら考え、練習を重ねながら、3作品の上演に向けて意欲を燃やしている。

総合学習の時間を使い、4月から地域について学んできた子どもたち。民話を調べて台本を制作し、タンスと演臺を手掛け、大道具もすべて手作りした。意匠に見てもらいたいと意欲が

岡谷市川岸小4年生



5日おかや演劇祭 児童主体で上演へ

▲本番に向け、創作劇「竜神様と太鼓祭り」の練習に励む川岸小の児童

高まり、演劇祭への出演を決めた。

創作劇の一つ「竜神様と太鼓祭り」は、絵本「諏訪の龍神さま」を基にした作品で、地元が誇る岡谷太鼓まつりを取り入れて華やかに演出。神無月と呼ばれる10月に、出雲に集まった全国の神々が、大きな竜神様の背中を渡って諏訪湖まで訪れ、住民と祭りを楽しむストーリーだ。

本番を控えた11月下旬、同校で芝居の通し稽古が行われた。観客に伝わるように、せりふをゆつくり話すように心掛けて練習。客席を向いて演じるなどの改善点も挙げ、全員で表現方法を考えた。

ともにリーダーの横内凛緒さん(10)は活動を通して仲間との絆を深めてきたので、みんなと話せようになった。今では人前に立つのがかたじけなく前だ。小口佳徳さん(10)は「見る人も演じる人も楽しめる劇にしたい」と意欲込め、上演するのは「火ともし山」「なまこ坂」を含む3作品。4年1組担任の山本純子教師は「自分たちの力でつくり上げる経験を通して、思考力や表現する力を養い、自信につなげば」と願っていた。